

# 水田 畦畔 雑草 対策 を 楽 に します

## ホクコ ダイロン ゾル

### 1. 雑草が生える前：畔塗作業時

春処理：畦畔を作る5月中旬頃にダイロンゾルを処理すれば7月頃まで雑草の発生を抑えます。



5月24日  
(散布時)



7月24日  
(散布61日後)

ダイロンゾル  
(400倍)  
+  
非選択性茎葉処理  
除草剤 (200倍)  
  
混用散布

### 2. 雑草が生えてる場合、夏処理 (7~8月頃) など

雑草が既に生えている時は下記茎葉除草剤との混用がお奨めです。

生えている雑草を **枯らす!**

**茎葉除草剤**  
バスタ・ザクサなど

**特長**

- ほとんどの雑草をすばやく枯らす!  
スギナもしっかり枯らします!  
有効成分が速やかに吸収され、散布後1~3日で効果が現れはじめます。
- 雨に強く、梅雨時期でも安心!  
散布後1時間雨が降らなければ、効果に大きな影響はありません。

## 混用散布

生えてくる雑草を **抑える!**

**ホクコ  
ダイロン  
ゾル**

**特長**

散布した土壌表層に薬剤(ダイロン)の処理層ができ、雑草の発生を長く抑えます。

ダイロンゾルの処理層

雑草の種子



夏処理：7月~8月中旬に処理すれば秋まで除草作業が不要です。  
※雑草が大きくなる前に処理すればより効果的です。※散布の条件によって異なる場合があります。

# ダイロンゾル + (茎葉除草剤) の使い方

## 混合薬液の調合早見表 (水田畦畔に使用する場合)

希釈水量	水10ℓ	水18ℓ	水20ℓ	水100ℓ	水300ℓ	水500ℓ
茎葉除草剤 100~125倍	80~100 ml	144~180 ml	160~200 ml	800ml~ 1ℓ	2.4~3.0ℓ	4~5ℓ
ダイロンゾル 400倍	25ml	45ml	50ml	250ml	750ml	1.25ℓ
散布面積	1m×100m (1アール)	1m×180m (1.8アール)	1m×200m (2アール)	1m×1km (10アール)	1m×3km (30アール)	1m×5km (50アール)

### 3. 駐車場、家まわり、のり面などの雑草、ゼニゴケ対策に(おすすめは100倍)



散布: 45日後



ゼニゴケも  
枯らします。

家まわりのしつこい雑草を長く抑えます。

希釈水量	水10ℓ	水20ℓ
茎葉除草剤 100~125倍	80~100ml	160~200ml
ダイロンゾル 100倍	100ml	200ml
散布面積	1m×100m (1アール)	1m×200m (2アール)

注: 100倍で使用する際は植栽地では使用しないでください。

### 効果を高めるポイント

- 1 上記の調合薬液を該当面積に**しっかり散布**してください。  
散布液量が不足すると効果不足の原因になります。
- 2 **土壌にも良く掛かるよう、雑草が大きくなる前に散布**してください。  
(目安として草丈10cm以下)
- 3 調合液は沈殿しやすいので、時々攪拌してください。  
作りおきせずに早めに使用してください。



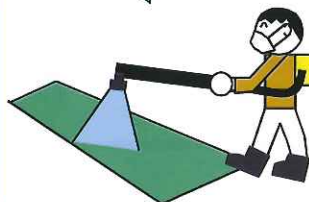
### 散布時の注意

1. 激しい降雨が予想される場合は、使用を避けてください。
2. 作物に薬液が付着すると薬害を生じるので、飛散しないように散布してください。
3. 水田内へのドリフト、流入に注意してください。  
薬害が生じる場合があります。

飛散の少ない  
キラシノズル  
がオススメ



草むらにノズルをつっこんで、土壌にも散布してください!



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。  
●本剤は小児の手の届く場所には置かないで下さい。●使用後の空容器は園場等に放置せず、  
環境に影響のないよう適切に処理して下さい。●防除日誌を記載しましょう。



JAグループ

農 協 | 全 農 | 経済連

登録商標 第4702318号